

宝のえにしに平八幡

(市内の貴重な文化財や自然などを紹介します)



主泉の長者清水



(上)一ノ蔵の湧口 (下)二ノ蔵の湧口

群水湧の敷屋長者

所在地：長嶺神社境内(松尾第4地割60番地2)を含む市立公園内ほか

松尾の長者屋敷は、縄文時代前期から平安時代に続く重層の複合遺跡であることが確認されていますが、特に縄文中期の集落跡は三内丸山遺跡に匹敵するほどの規模だといわれています。大昔から人々が住みついた良質の水場でもあったようで、長い歴史の中で清水伝説、長者伝説が生まれました。そのひとつが「岩手の名水20選」に選ばれている長者屋敷清水にまつわる伝説です。征夷大将軍坂上田村麻呂が東夷・大武丸配下の登喜盛を討ち取り、その場に湧く清水で血染めの太刀を洗い清めたことから、別名「太刀清水」というようになったといえます。昭和4年、中松尾にあった長嶺神社をこの地に遷宮新築し、長者清水神と蔵瀧大明神を合祀したと境内の碑文は伝えます。7、8カ所ある湧口の多くは一ノ蔵、二ノ蔵などの名が示すように柱状の巨岩紫蘇輝石安山岩の岩場から湧き出しています。その一つ一つに水神などが祀られ、地域の人々の信仰の深さを物語っています。周辺は市立公園として整備され、主泉には神社の氏子会によって樋がかけられ水くみの便が図られています。昔は眼病に効くといわれ、神社の例祭には出店が並び花輪線に臨時列車が出るほどのにぎわいだったといえます(現在の例祭は7月第2土曜日)。

今は美味しい水(硬度 27.5 mg/ℓ の軟水)としての利用が多く、この日も平日だというのに大量の容器を抱えた人たちが順番待ちをする場面も見られました。【撮影：6月11日】

(文・市文化財保護審議会委員 畑謙吉)

- 《参考文献》 松尾の文化財 (1980、1983・村教委)
東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査報告書 (1980～84・岩手県埋蔵文化財センター)
岩手の遺跡 (1985・岩手県埋蔵文化財センター)
長者屋敷遺跡第4次発掘調査略報 (1989・松尾村)
岩手県神社名鑑 (1988・岩手県神社庁)
長嶺神社由来資料 (神社所蔵)
岩手の名水20選選定資料 (1988・松尾村)
湧口と碑 (1996・松尾村)

編集後記

4月5日号の広報で募集した広報特派員として、小野寺幸子さん(野駄)に依頼することが決定しました。小野寺さんも腕章を付けて、イベントなどの取材をします。ご協力をお願いします。私も特派員に負けないように頑張らなければと気持ちを新たにしました。(佐々木)

今月の表紙

大人にだって負けないぞ

市消防演習は、6月24日、松尾総合運動公園で行われました(関連記事は6頁)。同演習では、市消防団員による部隊訓練などを実施しました。また、全国でも優良な少年消防クラブとして表彰された浅沢少年消防クラブが操法訓練を披露。大人顔負けの動きに、会場の参加者からは声援が送られ、見事にその大役を果たしました。

